

2022
2020
2019
2018
2017
2016
2015
2014
2013
2012
2011
2010
2008
2007
2006
2005
2004
2003
2002
2001
2000
1999
1998

エンパワメンター研究会 vol.15

エンパワメンターだより NO.33

子どもとの関りにエンパワメントのシャワーを！

2025/9/6 開催「子どものからだときもちはだれのもの？」～子どもの権利より～



参加者からいただいた声を一部抜粋し
紹介します！（掲載可の方より）Vol. 15
1回め～参加できるとき参加する～そ
んなペースでOK♪
お待ちしています👉

♥ (^。^) ♥

発行：えんぱわめんと堺
エンパワメンター研究会

エンパワメンターって？

Empowerment Facilitator Mentor

・内なる力を取り戻す関わり ・促進役、進行する人 ・助言者、支援者、ビジネス基本用語

- 子どもから予想もできないような答えが来たとき、どう対応するか…日ごろ自分がどんな価値観をもって生きているかをマジで問われると実感できた。大人がエライわけではないことを肝に銘じます。改めて…。
- 自分のみかた、考え方には気づく時間でよかったです。ファシリテーターとして深める問い合わせなかなか思いつかない自分に改めて気づきました。今後学びを続けて、慣れていけたらと思いました。「子どもの気もち」をきけるおとなでいたい。
- 言葉や気もちを受けいれる、ボディタッチに対しても一旦受けとめてから具体的にキヨリ感やOKかNOかを示していいかいいかなと思う。あたまから「人のからだに触れる時は許可がいります」と拒否るのは、その子が話すきっかけを失うことになるかもしれないのと、「びっくりした～」「少し手を離すね～」などの声掛けからしていきたい。
- 今日も沢山の気づきがあり満足でした。学びを深めるための心がけから時間をかけてもらえることでそこから既に気づくこと多く珍しい場だと思います。沢山の子ども達と関わってきた自分としては、子ども理解の度合によりエンパワメンターの学びも速度や思っている角度が微妙に違うこともある気がしていて、0才児といつても色々なイメージでみんな考えているんだろうなあ…と少し思い、その辺の学びも共に学ぶ時間も必要かと思いました。
- 子どもが自分のからだや気持ちを考えるきっかけになるにはおとのの接し方や態度、反応によって変わってくるのだと思いました。子どもが気づけるような言葉かけをしたいです。ファシリテーターとして波風たたないのがよし！ではなく最終の答えをだすのではない、議論を深めていく時間というのが心がけを考える中で、傾聴とともに大切なこと面白いことだと感じました。あと「慣れなくていい」は自ら参加されている場であっても意識したいことでした。